

言語化のチカラを 底上げしよう！①

～言語を自在に横断する方法～

コア学サロン 2022 年 4 月

言語化とは「具体と抽象」を行 き来すること

今回はコア学研究所初めてのテーマ「言語化」を特集したいと思います。

言語化が好きな方もいらっしゃるし、言葉が

ぱっと出てこない、言葉に詰まる感じがあつて諦めちゃう方、言いたいことを表現しているけど、少し空回りしているような感じがする方、ぱちっと当てはまる感じがしなくて総合的に言語化が好きじゃない方もいらっしゃると思います。

あるいは言語化に苦手意識があるという方も結構多いと思います。

だけど、自分の言葉に自信を持てるとか、自分から放たれる表現に確信だったり自信だったり愛を感じたり、自分がとにかくそれを好きだと思えるのはすごく重要なことだと思うので、自分の言葉を好きになっていけるよう

と一緒に取り組んでいきましょう。

まず、最初に考えたいポイントは、そもそも何をしていることが言語化に当たるのか？皆さんが言語化しようとしている時、脳みその中で何をしているのだろうか？ということを少し想像してみてください。

これがわかると、「あっ、なるほど！意外とうまくできるかも」と思える方がいるかもしれないので、想像してみてください。

実は、こんな本があります。「具体と抽象」という本です。字も大きいしすごく読みやすいし、ぜひ皆さん手に取ってみてください。

具体と抽象に関する素晴らしい本です。私の

バイブルとも言えるような本なのでおすすめです。



「具体と抽象」に関して先に結論を言うと、私たちが言語化をしている時、あるいは言語化しようとしている時は、この具体と抽象を

行き来するという行為をやっていきます。

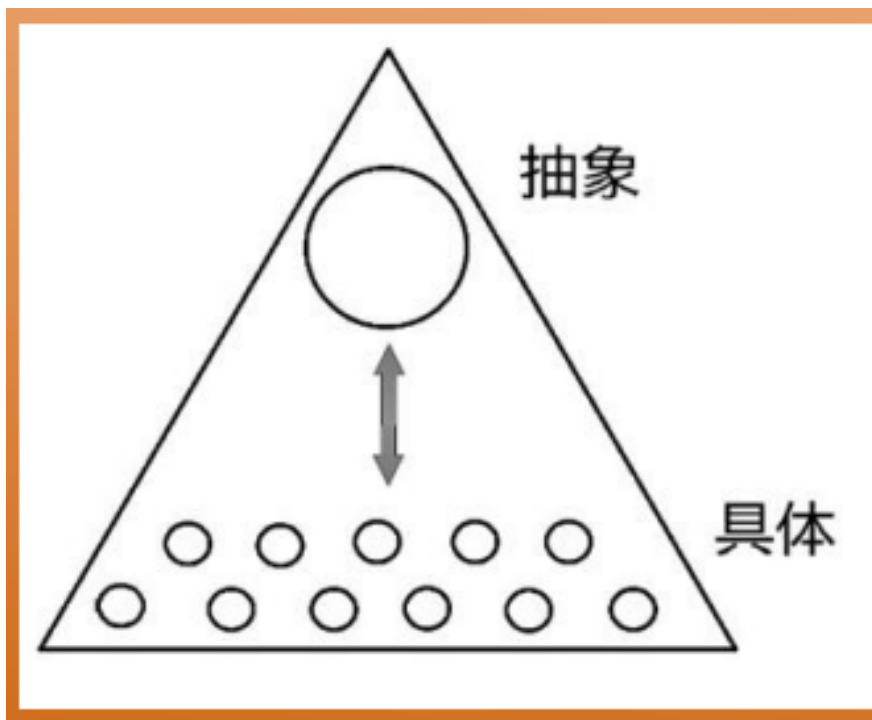
言語化というのは、具体と抽象を行き来する行為にもなります。今、私が話をしていることも、ある意味言語化です。

私は一時間の講義の中で具体的な話をしたり抽象的な話をしたり、具体的な話をしたり抽象的な話をしたりといったように、言葉を使って行き来しています。

だから私の話を聞いて、皆さんも実は私の言葉に合わせて具体と抽象を行き来しているということなんですね。

この本の中の図を借りて「具体と抽象」とは、そもそも何なのかということをお話しし

ていきます。



図の上にあるものが抽象で下が具体です。具体の方が丸が小さくて、抽象はひとつのかたまりになっていますよね。いろんな細かい要素がひとつかたまりになったものが抽象です。

例えば、バナナは具体か抽象かと言ったらど

っちでもありませんが、バナナよりも抽象的なものは何かというと果物なんですね。

バナナとリンゴとオレンジみたいな具体があって、それをひとかたまりでいうと果物ですというのが抽象化です。

逆に、抽象化が具体化されるというのは、ひとかたまりになっているものが分解されて、例えば、ワンホールのケーキが細かくカットされてバラバラになったひとつひとつが見えてくる。これを具体化と言います。

抽象化というのはバラバラになったものの共通点を見出してひとくくりにすることです。ひとくくりで一言で表すとか、ひとつとして

見ていくのが抽象化です。

抽象的なものを具体化していくというのはどういうことかということ、すごく大きくひと塊になったものが細分化されていくということです。

抽象化と具体化を行き来することで、私達はコミュニケーションを取り合って、自分の伝えたいイメージを伝えているわけです。

言語化が苦手な人の特徴

ここまでは何となく分かると思いますが、ここからがポイントです。